ボーリング柱状図

調査名	一般国道375号(引宇根工区)道路改良事業に伴う測量・地質調査・解析等業務(交付金)
事業・工事名	

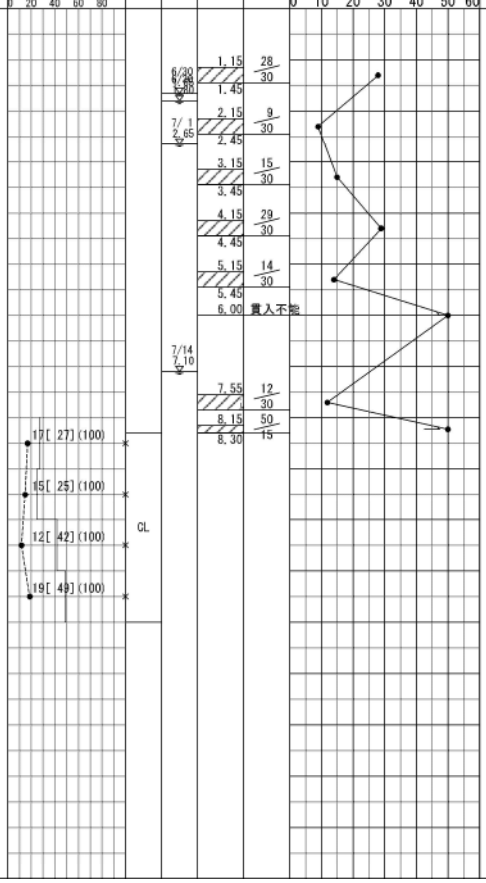
ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	3	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	BP-1V	調査位置	広島県三次市日下町地先			北緯	34° 48' 15.4270"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成28年 6月29日～平成28年 7月14日			東経	132° 47' 35.2100"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	151.23m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種
総掘進長	12.00m						

試錐機	東邦地下工機D1-B48型	ハンマー落下用具	半自動型
エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	151.03	0.20		コンクリート	灰						舗装面のコンクリート。
1	149.63	1.60		砂礫	暗褐						道路のバラストと考えられる。礫径はφ20～50mm位でmax90mm。盛土と考えられる。φ5～20mm程度の礫が多く混じる。マトリックスは砂で、やや粘性分が混じる。礫種は花崗岩や石英安山岩。
2 3	147.63	3.60		礫混じり砂	褐						段丘堆積物と考えられる。φ5～30mm程度の亜角～亜円礫が混じる。礫分やや多い。マトリックスは細砂で礫種は石英安山岩。
4 5 6 7	143.83	7.40		玉石混り砂礫							段丘堆積物と考えられる。φ100～800mm程度の玉石が多く混じる。マトリックスは砂礫。礫は亜円～円礫。砂分やや少ない。淘汰が良い。
8	142.93	8.30		礫混り砂							水分多く、礫分少ない。
9 10 11 12	139.23	12.00		流紋岩質溶結凝灰岩	青灰	C	Ⅲ	c	γ	1	全体的にやや硬質で水平方向と70°位の亀裂が非常に多くコアは短柱状が主体。 亀裂が多い区間は岩片化している。 GL-8.30～8.70m間、狭在物がほぼ鉛直に薄く入っていて、褐色を帯びている。 GL-11.20m付近、やや厚い狭在物あり。前後の縦亀裂にも淡緑色を帯びる薄い狭在物がみられる。 GL-10.0 m以深、RQD高くなるが、潜在亀裂も多い。
13 14 15 16 17											



岩級区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数/貫入量 回/cm	原位置試験	室内試験
CL	6/30 6.00 7/1 2.65 7/14 7.10	1.15 1.45	28/30		
		2.15 2.45	9/30		
		3.15 3.45	15/30		
		4.15 4.45	29/30		
		5.15 5.45	14/30		
		6.00	貫入不能		
		7.55	12/30		
		8.15 8.30	50/15		

掘進状況 掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
6/29	60					0.0	清水/0	0
	60		S/MC	1.0～2.0	60			
	109					0.0	無水/0	0
	137			1.0～1.5	60			
	60							
	330							
6/30	135		HW/DI	0.5～1.5	190	0.1	泥水/4	4
	300			1.5	190	0.1～0.1	泥水/4	0
7/1	1200		S/MC	1.5～2.0	60	0.0	無水/0	0
	150		HW/DI	0.5～1.5	200	0.1～0.1	泥水/6	0
	150					0.1～0.1	泥水/6	3
	150					0.1～0.1	泥水/6	0
7/13	720		S/MC	0.5～1.0	60	0.0	無水/0	3
	220		HW/DI	1.0	200	0.1～0.1	泥水/6	0
	150					0.1～0.1	泥水/6	
	150							
7/14	135							